

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)宝殿駅前計画 新築工事	階数	地上13F
建設地	加古川市米田町平津字道堂446番8	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	4人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2019年12月3日
敷地面積	2,957㎡	作成者	株式会社長谷工コーポレーション大
建築面積	972㎡	確認日	2019年12月4日
延床面積	9,325㎡	確認者	株式会社長谷工コーポレーション大



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

92 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	・機能性を向上する設備機器を敷設し、温熱環境や建材の有害性に配慮した計画とすることで、長期的に良好な住環境を得られるよう努めている。	その他 特になし
Q1 室内環境	・室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) ・敷地内に緑地を配置することで、敷地内温熱環境の向上を図っている。
LR1 エネルギー	・有効な採光・通風の確保のために、各住戸が外皮に二方向面するよう計画している。	LR3 敷地外環境 ・LCCO ₂ の排出量を低くするよう努め、地球温暖化に配慮している。
Q2 サービス性能	・各住戸に最大通信速度1Gbpsに対応する通信設備を設置できる計画とすることで、機能性を向上させている。	
LR2 資源・マテリアル	・有害物質を含まない建材を使用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される